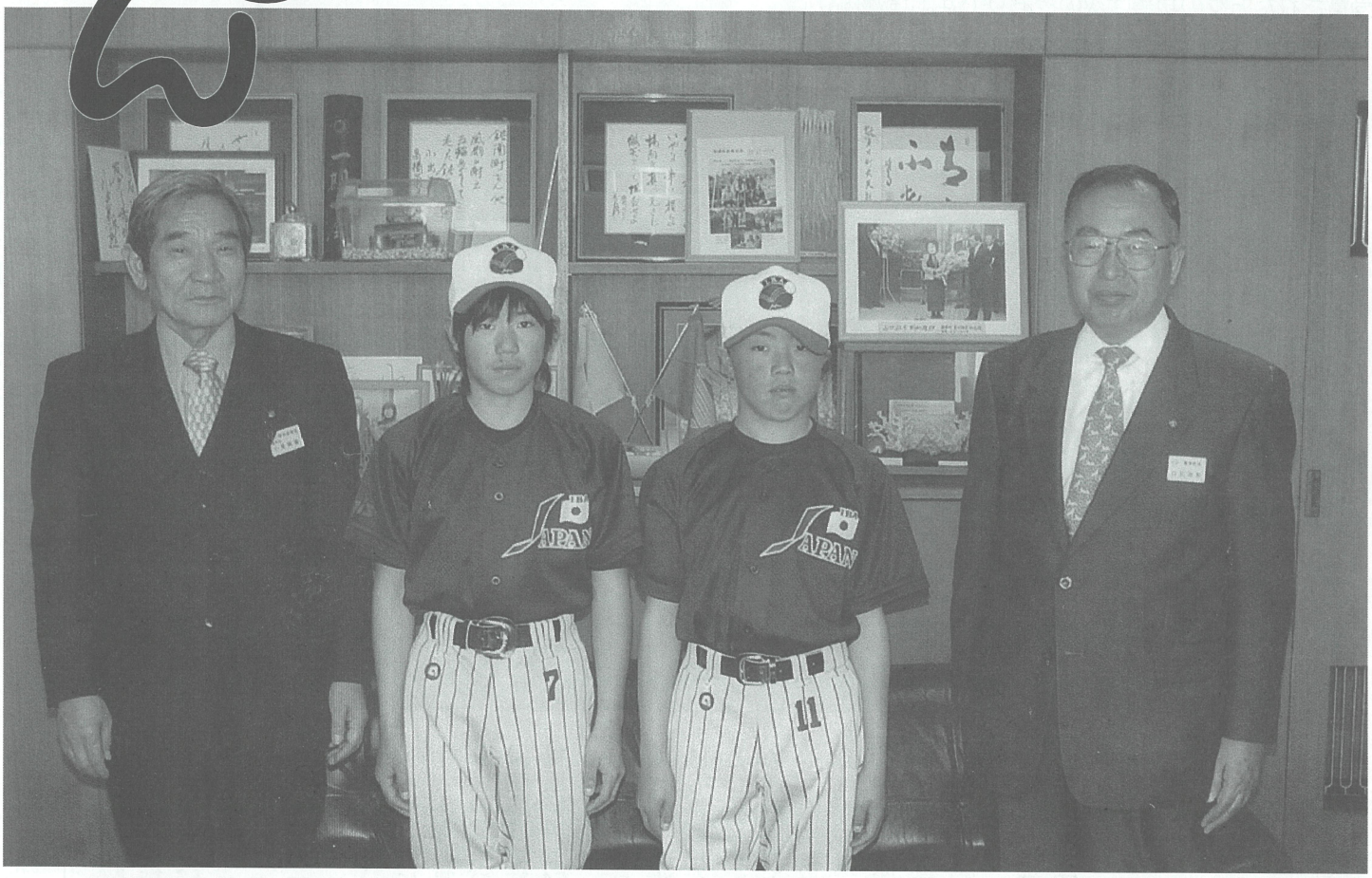
きょなん

町報　第429号
発行：鋸　南　町
編集：合併調整室
〒299-2192
千葉県安房郡鋸南町下佐久間3458
☎0470-55-2111(代)
毎月１回
ホームページ：http://www.town.kyonan.chiba.jp/

4
2004



柴本瑛介君　　中村真吾君

少年野球選抜・オーストラリア遠征

勝山小学校の柴本瑛介君（6年）、佐久間小学校の中村真吾君（6年）の2名が少年軟式野球国際交流協会（ＩＢＡ）のオーストラリア遠征に参加しました。今年の訪豪団は役員6名と選手55名4チームで3月27日から4月4日の7泊9日の日程で、メルボルンなどを訪問。地元の野球チームと試合をし、交流を深めました。

訪豪に先立ち、役場を訪れた2人は白石町長、小宮教育長と面会し、町長から「小さい時から海外に行くことは良いこと。国際感覚を養いひとまわり大きく成長して地元に帰って来てください」、また教育長から「ホームステイは大変貴重な体験、言葉は通じなくても身振り手振りで交流を深めて下さい」と激励を受け活躍を誓っていました。

役場本庁直通電話一覧

税務住民課（住民係）	･･･55−2112
税務住民課（税務係）	･･･55−2113
収入役室（出納係）	･･･55−2114
総務課	･･･55−4801
合併調整室	･･･55−4803
議会事務局	･･･55−4804
農林水産課	･･･55−4805
土木環境課	･･･55−4806
まちづくり課	･･･55−1560
水道課	･･･55−3569

きょなんフォトニュース

平成15年度鋸南町表彰

功労表彰4名・善行表彰2名・2団体を表彰

平成15年度鋸南町表彰が去る3月30日に行われ、功労・善行者8名に対し、白石町長から表彰状が授与されました。受賞された方々の功績は次のとおりです。（敬称略）



功労表彰

《健康ちば推進員》
池田博幸（56歳・本郷）
昭和63年10月に明るい県民づくり推進員に委嘱され、以来退任されるまでの15年間、推進員の主催事業としてスポーツの集いの開催を始め、町、教育委員会主催の各種イベントに積極的に協力を行い、社会体育振興、地域スポーツ振興、町民の健康づくりに寄与された。

《健康ちば推進員》
福原好男（54歳・大帷子上）
昭和63年10月に明るい県民づくり推進員に委嘱され、平成12年10月からは推進員会長を務めるなど、15年間にわたり推進員の主催事業としてスポーツの集いの開催を始め、町、教育委員会主催の各種イベントに積極的に協力を行い、社会体育振興、地域スポーツ振興、町民の健康づくりに寄与された。平成15年4月からは地区区長として地域のまとめ役として活躍されました。

《健康ちば推進員》
矢生茂美（56歳・市井原）
昭和63年10月に明るい県民づくり推進員に委嘱され、以来退任されるまでの15年間、推進員の主催事業としてスポーツの集いの開催を始め、町、教育委員会主催の各種イベントに積極的に協力を行い、社会体育振興、地域スポーツ振興、町民の健康づくりに寄与された。

《健康ちば推進員》
吉本行男（54歳・江月）
昭和63年10月に明るい県民づくり推進員に委嘱され、以来退任されるまでの15年間、推進員の主催事業としてスポーツの集いの開催を始め、町、教育委員会主催の各種イベントに積極的に協力を行い、社会体育振興、地域スポーツ振興、町民の健康づくりに寄与された。平成5年度は保田小学校ＰＴＡ会長として、また平成13年度は地区区長として地域のまとめ役として活躍されました。

善行表彰

《寄付》
布哇観光事業グループ
代表　金福東（館山市）
平成16年2月23日さくら拠点整備用備品として重機（ミニ油圧ショベル時価5百万円相当）を寄贈。

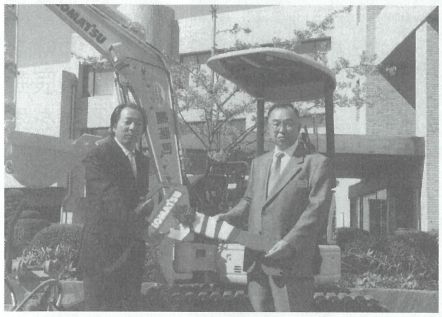
《寄付》
やまびこ会
会長　佐久間常夫（佐久間地区）
平成15年7月4日桜苗木千本（50万円相当）の寄贈。

《寄付》
宇原利用（77歳・両向）
平成16年1月15日
景観整備寄付金として50万円を寄付。

《寄付》
田村徹夫（57歳・中佐久間）
平成16年1月22日
景観整備寄付金として50万円を寄付。

桜植栽に油圧ショベルを寄贈

2月23日、河津桜の植栽に役立てて欲しいと、町にミニ油圧ショベルが寄贈されました。寄贈したのは、町内に遊技店を経営する布哇観光事業グループ（金福東代表）。白石町長と金代表とは高校の同級生で旧知の仲。たまたま同席する機会があり、官民一体となった桜植栽を通じて日本一の桜の里を実現したいと語る白石町長に賛同、日頃から地域振興に関心の高い同氏は、町の活性化につながるのならと二つ返事で今回の寄贈となりました。ショベルの胴体には、舞い散る桜の花びらと「日本一の桜の里をめざして」のキャッチフレーズがペイントされており、今年度予定されている、佐久間ダム周辺拠点整備事業にその力を発揮するものと期待されています。



春一番！こども桜まつり開催！「みんながおともだち」

3月21日（日）中央公民館を会場にリーダーズクラブ（会長福原規生）ジュニアリーダーズクラブ（会長篠原明希）が主催する「春一番！こども桜まつり」が開催されました。

当日は、約130名の親子が参加し、セレモニーやゲームコーナーを楽しみました。イルミネーションや風船で飾り付けをした会場内では、海賊と英雄が戦う寸劇やジャンケン大会、桜吹雪などで盛り上がりました。ゲームコーナーでは、紙皿や紙コップ、ペットボトルを利用した的当てゲームや豆つかみゲームなど5コーナーが設置されました。参加した子どもたちは、「お兄さん楽しかったよ」や「お姉さんまたやってね」と感想を話していました。



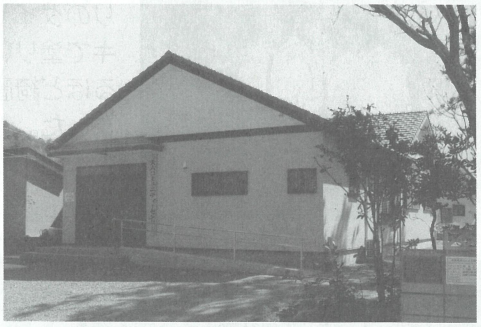
第9回全国青年・女性漁業者交流大会

日本全国の青年・女性漁業者が、日頃の研究・実践活動の成果を発表する「第9回全国青年・女性漁業者交流大会」3月3日、4日と2日間にわたり東京都港区虎ノ門パストラルで開催されました。この大会は、漁業経営部門や地域活動部門など五つの分科会に分かれ、全国から55名の発表者が参加した中、環境保全活動部門に千葉県代表に選ばれた勝山漁業協同組合の三橋美子さん（岩井袋）が活動ぶりを報告しました。三橋さんは「私にできること―サンゴ北限の町に住んで―」と題して、漁村に暮らしながら母として町議会議員として、また漁協婦人部としてのこれまでの活動ぶりを、スクリーンに写真を映しながら発表しました。結びにサンゴ北限の地岩井袋の美しい海もゴミが目立っており、魅力ある漁村づくりのためにも豊かな自然環境の保全をと呼びかけました。



大六区コミュニティセンター完成

大六区では昭和44年に建設された旧大六青年館の老朽化にともない、昨年10月より新たな集会施設の建設に着手していましたが、今年2月25日に完成、3月6日に落成式が行われました。2階建だった旧施設は高齢者・身障者に配慮したバリアフリー平屋建で設計され、面積149.06㎡、建設費2,066万円で新築されました。事業費の一部には県の市町村合併支援補助金及び町のコミュニティ事業補助金が使われています。町ではコミュニティ活動の拠点となる集会施設を毎年1ヶ所整備しており、平成16年度は吉浜区青年館の改築が予定されています。



今月のお風呂大好き



手塚和子さん
「忙しい毎日を送る中、ここのお風呂に入るとリフレッシュできます。」

見返り美人の里

笑楽の湯

今月のお風呂は「よもぎ風呂」です。26日が休館日の為、お風呂の日は25日（日）です。春の野草といえば、つくし、ふき、せり、ヨモギ等野山は野草の宝庫です。万葉集の歌にも詠われているように、人々は昔から摘み草遊びを楽しんでいました。今月は、春の野草の中からよもぎを選び、摘んできました。よもぎ風呂の効能について調べてみますと、血行を促進し血液の循環がよくなり冷え性、腰痛、痔痛に効果があります。またよもぎの葉の香りはストレス解消や安眠に効果があります。さらによもぎは漢方薬としても効果があり、身体を温め、食欲増進、胆汁分泌促進、止血作用があり、冷えによる腹痛等に効果があります。

やわらかな春の日差しを受け、摘み草遊びはいかがですか。その後、よもぎ風呂に入り春の色と香りを楽しんで下さい。

〔老人福祉センター〕

「空手」勝山会スポーツ少年団県大会で大活躍

千葉県体育協会、県スポーツ少年団主催による第6回千葉県スポーツ少年団空手道交流大会団体戦が2月22日（日）、千葉県総合運動場武道館にて4部門265チームが参加して行われました。勝山会スポーツ少年団は小学校1年～2年形の部で予選・決勝ともトップの成績で優勝。3年～4年は僅差で3位の成績でした。組手の部では高校生チームが熾烈な戦いで見事優勝を成し遂げました。次の目標は日本武道館主催による全日本少年武道練成大会で上位入賞を目指し、頑張りたいと誓っていました。

（参加した選手は次のとおり。敬称略）



小学1年～2年
田中蓮（れん）・田村知大（ともひろ）
小林将人
小学3年～4年
鈴木航汰・笹生淳志
佐久間光甲（こうき）
高校生
黒川昌憲・和田　悠（ひさし）
川名大樹

第26回長狭街道駅伝 富津陸協が優勝

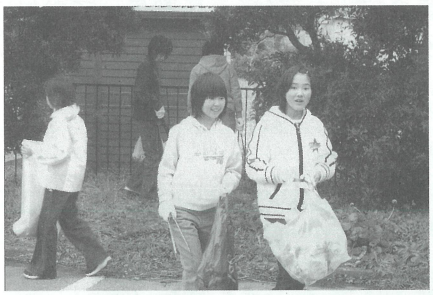
早春の長狭街道をたすきでつなぐ、長狭街道駅伝競走大会が、2月22日開催されました。競技は一般の部32チームと特別参加の部3チームの35チームが出場し、練習の成果を競い合いました。レースは鋸南町「すこやか」を10時にスタート、「鴨川陸上競技場」をゴールとして、全6区間25.7ｋｍで争われました。成績は、一般の部では1時間22分14秒のタイムで富津陸協が優勝に輝き、準優勝には安房高校、鋸南町から出場した体協チームは16位の成績でした。特別参加では、姉妹都市である辰野町が優勝を果たしました。



勝山小6年生が美化ボランティア

3月3日、卒業を控えた勝山小学校6年生が学校から駅までの通学路や役場・駅などの公共施設の美化・ボランティア活動を行いました。通学路ではゴミ袋を片手に空き缶や紙くず等を分別しながら収集。公共施設はでゴミの他にガラス拭きや待合所、公衆トイレの清掃を一生懸命してくれました。

3月4、5日は今まで自分達が使った勝山小学校の補修を行いました。ベンチや滑り台の周りのタイヤをペンキで塗り、見違えるほど綺麗になりました。



環境整備ボランティア



2月27日（金）、環境整備ボランティアとして奥村建設株式会社に、笑楽の湯の環境整備を行っていただきました。和を基調とした風情ある庭づくりを行う為、玄関脇から中庭へのアプローチ部分に玉砂利を敷き詰めました。熟練した腕で機械を操作し、作業は一日で完成。

その後、金明孟宗竹を植え、野点傘と緋毛氈を敷いた椅子を置きました。ご入浴後、心安らぐひとときをお過ごし下さい。

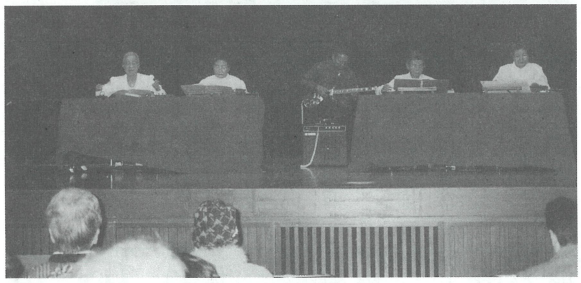


ボランティア日記

琴嶺会「大正琴の演奏」グループ

代表　髙橋美代子
（文・重田　榮子）

琴嶺会とは、大正琴の演奏により施設訪問をするグループです。大正琴を弾くきっかけは、指先を動かしたり、頭を使うことにより呆け防止になると知人に進められ、この会に入りました。素質もなく苦労しましたが、月2回のお稽古には、前もって練習をしていく様になり楽しんでいます。写真を取り出してみると、いろいろな施設に訪問に行ったことが思いだされます。一緒に唄ってくれたり、踊りをおどってくれる子供達とも仲良くなり、励みと生きる力を皆さんから頂いています。今後も頑張って施設訪問を続けたいと思います。そんな私達の仲間になりませんか、楽しいですよ。



演奏中の琴嶺会の方々

つなげよう声のネットワーク

声のバトンタッチ（25）

町民のみなさんの「声」をバトンタッチでつないで、友だちから友だちへ「声」のネットワークを広げていくコーナーです。

お尋ねする内容は、①仕事や趣味　②最近心に感じた事やうれしかったこと　③町政に望むこと　などです。次はあなたもネットワークの一員です。

①全く考えてもみなかった農業の道に進み、無我夢中で１５年の月日が経ちました。幸い周囲に恵まれ、沢山の大先輩の方々にやさしくご指導を頂き、ここまで続けてこれたと感謝の気持ちで一杯です。今はエンダイブ、これからはインゲンを栽培する予定です。自家野菜を含めておいしい野菜をつくりたいと思います。

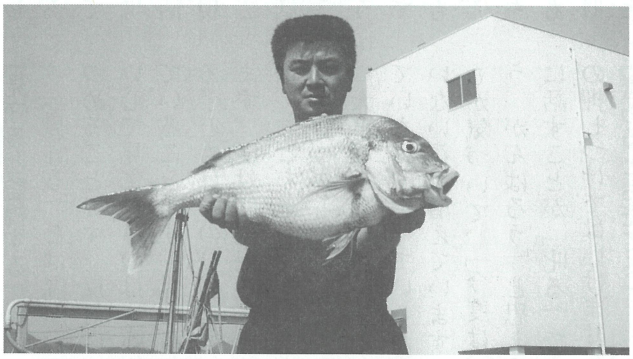
②時代の流れになんとかついていこうとパソコンを覚えています。子どもたちとのメール交換から始め、現在はインターネットで色々な情報を得ていますがその情報量には驚かされます。ネットでの応募にこり、先日缶ビールが当たりました。うれしかったです。

③田子台の遺跡のすぐ近くで野菜作りをしています。特に初冬の東京湾から富士山にかけては絶景です。先人たちが何か教えてくれているような気がします。しかし、日増しにワラぶき住居が朽ち果ててゆくのが残念でなりません。



白熊　桂子さん（本郷区・農業）

次回は篠原恭惠さん（元名区）へバトンタッチされます。



石﨑　国治さん（大帷子下区・釣船業）

①長男の誕生と共に１２年前に鋸南町に戻り、趣味の釣りを活かした仕事をしたいと思い、地元の釣船で修行をして、諸先輩方や多くの仲間に恵まれて海の事や色々な事を学びました。今は小さいながらも自分の船を持つことが出来、釣船業を営み充実した日々を過ごしています。しかし、趣味である釣りの方があまり出来なくなったのが悩みです。(笑)

②この鋸南町に戻った時に生まれた長男も、この４月から鋸南中の1年になります。ついこの前まで赤ん坊だと思っていたのに、月日がたつのは早いものだと思うこの頃です。

③ここ近年、特に夏休みに感じるのですが、海水浴客、観光客などで訪れる人たちが減少している様に思います。道の駅なども他地域に比べると少し淋しい気がします。もう少し観光の宣伝等に力を入れてみてはいかがでしょうか？他地域からの収益が増えれば、住民の皆さんや、町の活性につながるのではないでしょうか。その為には、住民の方の協力も必要だと私は思います。

次回は松川高久さん（本郷上区）へバトンタッチされます。

文芸

鋭角の稜線連ぬる北アルプス
　頂ははや雪を被けり
朝日てい子

卯月の陽集めて明かるき山藤の
　その下みちを花嫁の行く
池田幸子

雪峰の高野に陽光入り来たり
　若葉のひかり伽藍に映えたり
加藤洋子

葉先まで紅に染まりし花水木
　涙とも垂る冷たき雨が
菊間みよ子

畑を鋤く春の日ざしの
　やさしかりホー長く引く鶯の声
富永斐子

つながれし犬は見て居り早朝の
　己れの出られぬいらだち見せて
中村ひろ子

弥生来てうぐひすの声山畑に
　一人聞くなり菜花つみつつ
中山弘子

春の陽に潮みなぎる船だまり
　出漁を待つエンジンの音
森ユキ

家庭教育通信 すくすく NO.33

「親が変われば 子どもが変わる①」

今回は、二月十四日、十九日に開催したオープン学級のお話をご紹介いたします。講師に安藤恵美子先生をお迎えし、「親が変われば　子どもが変わる」と題してお話を伺いました。

◇先生のお話

始めに先生から参加者へ「どんな子どもに育ってほしいですか」と、問いかけがありました。その答えとして、「思いやりのある子」「人に迷惑をかけない子」「自分に自信をもち自立した子」などが多かったようです。先生は、「○○のように育ってほしい」と願っているだけでは、子どもは育たない、毎日の生活は目標に向かっているか、実現するための手だてをたてて過ごしているかが大切なこととお話していました。では、どのように接することが良いのでしょうか？まず、子どもは、上手にできなくても、時間がかかっても体験を通して学習しています。子どもの「やりたい気持ち」を尊重し、出来たときに誉めてあげることが大切です。また、似ているけど違うこともあります。

『甘えると甘やかす』

子どもが甘えたい時期はいっぱい甘えさせ、肌の温もりを感じさせてあげましょう。温もりは、子どもに安心感を持たせ、心の優しい子に育っていきます。でも、子どもがほしがるからあげる？これは、甘やかしです。例えば、おやつの時間まで待つように話して理解させてあげましょう。

『見守ると監視する』

「見守る」とは温かい心で見つめることです。反対に、冷たい心で見ているのは「監視」していることです。見守られている子どもは、のびのびと行動します。反対に監視されている子は、おどおどします。

『怒ると叱る』

大事なときに、子どもを叱っていない。怒っているが叱っていない親が増えています。子どもが気づいて、「今度は、やろう。がんばろう」と思えるように話すことが「叱る」です。親の押しつけではいけません。

『誉めるとおだてる』

漠然と何でもかまわず誉めることはおだてで、子どもも喜びません。がんばったことなどは、ほんの小さいことでも認めて誉めてあげることが、子どものやる気につながります。

『言い分を受け入れることと言いなりになること』

子どもの言い分を良く聞いて受け入れることはとても大切なことです。しかし、できないことやいけないことは、毅然とした態度でいけない訳を話し我慢させましょう。受け入れることと、言いなりになることがごっちゃになっていませんか。

このように、子育てをしていく上で、親が考え子どもと接していかなければいけない場面が多々あります。次回は、「親が変われば　子どもが変わる②」をご紹介いたします。

（教育委員会　生涯学習係）

☆安藤恵美子先生著「親が変われば子どもが変わる」を教育委員会で貸し出しをしております。ぜひ、多くの方に読んでほしい本です。（☎五五―二一二〇）

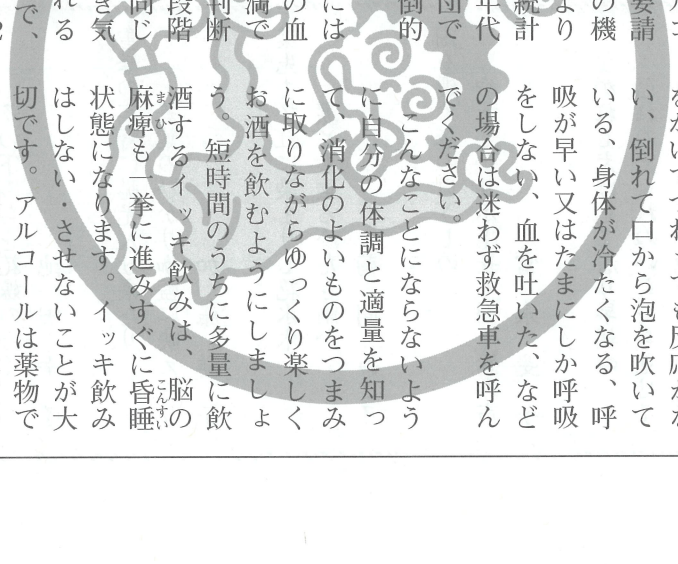


健康通信

「急性アルコール中毒」

4月は新人歓迎会やお花見などで何かとお酒を飲む機会が多い季節です。間違ったお酒の飲み方をして急性アルコール中毒になり救急車を要請するのは、同じ様に飲酒の機会が多いといわれる12月よりも4月の方が多いという統計もあります。搬送される年代は飲酒経験の少なさと集団での飲酒が多い20歳代が圧倒的に多いそうです。

おしゃべりになり陽気にはしゃぐ「ほろ酔い」状態の血中アルコール濃度は0.1未満です。しかし脈は速くなり判断力も鈍っています。次の段階は足がふらつき、何度も同じことを言うようになり吐き気がしたり記憶が途切れる「酩酊」といわれる状態で、血中アルコール濃度は0.1～0.2に上昇しています。バランス感覚が麻痺し転倒や転落などの事故を起こしたり、喧嘩などのトラブルを起こしたりします。第三段階の「泥酔」になると血中アルコール濃度は0.2～0.3で、起立できない、こ



とばは支離滅裂となり意識朦朧、嘔吐も激しくなります。血中アルコール濃度が0.3～0.4となると「昏睡」で、ゆすっても反応しない状態です。脳幹と脊髄が麻痺し脳障害のために植物人間になったり、死の危険もあります。大いびきをかいてつねっても反応がない、倒れて口から泡を吹いている、身体が冷たくなる、呼吸が早い又はたまにしか呼吸をしない、血を吐いた、などの場合は迷わず救急車を呼んでください。こんなことにならないように自分の体調と適量を知って、消化のよいものをつまみに取りながらゆっくり楽しくお酒を飲むようにしましょう。短時間のうちに多量に飲酒するイッキ飲みは、脳の麻痺も一挙に進みすぐに昏睡状態になります。イッキ飲みはしない・させないことが大切です。アルコールは薬物ですからお酒を飲めない体質の人は無理して飲まない、飲ませないことも重要です。社会人を送り出す家庭でも、迎える社会もこのことを守っていただきたいものです。

（保健福祉課　保健係）

歴史資料館

●連載141

勝山藩の戊辰戦争（2）

伊庭八郎と人見勝太郎

請西藩と幕府遊撃隊で組織された義軍の挙兵により、内房諸藩に緊張が走りました。

遊撃隊とは、腕の立つ旗本御家人の子弟で編成された、言わば将軍親衛隊です。隊長は伊庭八郎。心形刀流の伊庭道場、伊庭軍兵衛の長男として江戸に生まれ、文武に優れて幕府講武所剣術師範となり、徳川慶喜を護衛して上方へ上り、鳥羽伏見で敗れて江戸へ戻ってきました。

白面の美男子で、その剣技は「伊庭の麒麟児」と称賛されたほどの使い手。この時二十五才でした。

一方、人見勝太郎は、京都二条城の鉄砲奉行組同心、人見勝之丞の長男として生まれ京都文武場の教授であった父の影響で学問、剣術に優れた才能を発揮、京都所司代与力となりました。遊撃隊に加わり、八郎とともに江戸に敗走後、遊撃隊の一部を率いて江戸を脱走しました。この時二十六才です。



人見　勝太郎

内房諸藩の苦慮の決断

請西藩主、林忠崇を盟主とする義軍は、まず富津砲台を守備する富津陣屋に迫りました。警護の前橋藩は、老臣小河原多宮が、歩兵二十三人を脱走したことにして援軍として送り、他に大砲六門、小銃十挺、金五百両を差し出しました。小河原はその夜、責任を取って切腹しています。

ついで飯野藩では、藩主保科正益は上洛中であり、老臣樋口弥一郎は、やむなく兵二十人を差し出しました。

佐貫藩では、藩主阿部正恒は金三百両と兵器を送り、援兵は体よく断っています。

そして閏四月七日、保田芝台付近に宿陣した林軍は、いよいよ勝山藩に援兵を迫りました。この時、勝山藩主、酒井忠美はわずか六歳。江戸にいて不在でした。家老の酒井勇雄は蝦夷地へ出張中。留守居の岡田文左衛門らは苦しい選択に迫られました。

この頃、諸藩は勤皇証書というものを提出させられ、官軍に忠誠を誓わせられていましたが、意気上がる林軍に抵抗すれば、領内を戦火に巻き込むことになります。勝山藩でも、やむをえず、福井小左衛門ら三十一人を半ば脱藩の形で援兵として差し出したのです。彼ら勝山藩士の名は次のとおりです。

福井小左衛門、楯石作之丞、高橋万吉郎、智作太郎、須藤静摩、加藤六郎、小暮波五郎、竹内利兵衛、高橋種助、渋谷兼吉、秋子松五郎、川名儀兵衛、佐久間徳蔵、高橋徳太郎、須藤弥八郎、渡辺半蔵、小林栄吉、大沢和四郎、矢島四郎兵衛、戸塚辰五郎、山東林蔵、安田定七、滝本岩吉、松坂佐左衛門、山口（柴田）多郎三郎、松坂啓造、忍足徳蔵。福井小左衛門の従者として山根房吉、平四郎、義兵衛、岩井伝三郎の三十一名です。

（続く）

［歴史民俗資料館・笹生浩樹］

生涯学習 みんなで学ぼう

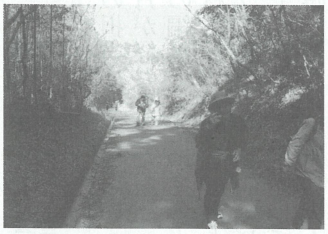
「ウォーキング教室」

3月7日（日）、今年度第2回ウォーキング教室が開催されました。　富津市佐貫小学校からマザー牧場まで往復16ｋｍのコース「菜の花ウォーク」への参加です。



スタート前に記念写真

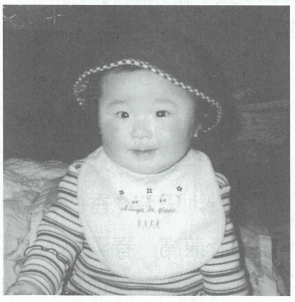
すっきり晴れ渡った弥生の空とはいえ、まだまだ肌寒く、山の中の道には霜柱が残っていました。それでも冷たく澄んだ山の空気は次第に汗ばむ身体を心地よくしてくれます。ゴールで完歩証明のスタンプをもらい、ご褒美に搾りたての牛乳を御馳走になって、参加した皆さんの顔からは達成感と満足感が見てとれました。牧場は菜の花の黄色いじゅうたんと満開の梅の花、遠くに蒼々した房総の山々が連なり、その眺めは心までも休ませてくれました。復路も参加者全員が完歩できたのは、自然からの栄養をたっぷりもらったおかげかもしれません。



なんだ坂、こんな坂…

問い合わせ先　中央公民館☎５５－４１５１

わんぱく登場



七海（ななみ）ちゃん（8か月）

〔鈴木　仁さん　第1子　町〕

近頃はバイバイができるようになったけど、お店の看板姫としてはお別れの挨拶よりお迎えの挨拶ができないと困ると気づき「いらっしゃいませ。」の練習を始めようと思っています。パパはこの夏水泳デビューを計画している気配。いきなりクロールは無理だから、水遊びからつきあいます。

桜だより

～苗木の配付申請書～

新年度が始まりました。町では今年も頼朝桜（河津桜）の植栽を、町民の皆さんとともに推進したいと考えています。ですから今年も植栽を希望される方に、桜の苗木の無料配付を予定しています。

町では去る2月、今年の苗木の要望本数を把握するために、各区長さんにお願いして苗木の要望調査を行ないました。各区からの要望を集計した結果、本年は2千300本余の要望がありました。しかし、これはあくまで要望調査であり、決定ではありません。

苗木の配付を希望される方には、今後、5月中に区長さんを通じて、正式な申し込みとなる配付申請書を提出していただくことになります。

本年度の苗木配付数は、2千本を予定しておりますので、既に要望本数が配付予定本数を上回っている状況です。

皆さんから提出いただいた申請書は、担当課で植栽基準に適合しているか否かを検討させていただき、基準を満たす申請に対して、苗木をお配りすることになります。基準とは次のようなものです。

◆植栽場所に関すること

①要望本数が植栽場所に対して多くないか。複数本数植栽する場合は、木と木の間隔は8m以上必要です。

②日当たりが良く、水はけの良い土地であるか。

③土地が自己所有であるか？自己所有でなければ所有者の許可を得ているか？

④河川敷、国道県道敷、農業用水路用地でないこと。

◆植栽方法に関すること

①苗木配付後、速やか（1週間以内）に植栽できること。

②過去植栽された苗木の補植用より新規植栽を優先。

③分散して植栽するものより集中させるものを優先。

◆育成管理に関すること

①申請者が責任を持って、植栽した苗木を継続的に育成管理できるかどうか。

以上の基準から配付の可否を決定させていただきますので、配付を希望される方は、5月上旬に回覧する申請書に必要事項を記入のうえ区長さんに提出をお願いします。

B&G NEWS

≪H16.第1期水泳教室生徒募集≫

当海洋センターでは4月から第1期水泳教室を開催します。
水中運動教室については引き続き振り替え練習が可能です。申込み受付中！！

水中運動教室
★ポンポコ歩行　★生き生き貯筋
★水中歩行　★腰痛改善
★レディース

水泳教室
◎チャイルド　◎幼児
◎初級・中級　◎選手・育成

◇お問い合わせは　鋸南町B＆G海洋センター　☎55－4411まで

あの子もこの子もきょなんの子　おめでとう　（2月26日から3月25日迄の届け分）



赤ちゃん	生まれた日	両親の名前	地区	わが子へのメッセージ
☆石﨑　純太（じゅんた）くん	平成16年 2月29日	直　紀・真　弓（第2子）	大帷子下	元気に明るく育ってね
☆平野　蓮（れん）くん	平成16年 3月 6日	健　・直　子（第2子）	本　郷	元気でたくましく活発な子に
☆池田奈々香（ななか）ちゃん	平成16年 3月 7日	和　博・貴　子（第1子）	本　郷	明るく元気に育ってね
☆兼高　春菜（はるな）ちゃん	平成16年 3月13日	長　七・美　穂（第1子）	町	春のように明るい、菜の花のように強い子になれ
☆福原　芹琉（せり）ちゃん	平成16年 3月15日	忠　・弥　生（第1子）	小保田	心清らかに育って下さい

※掲載を希望しない場合は、出生届提出時に申し出てください。

写真さしあげます

広報に掲載した写真さしあげます
一部希望に添えない場合もあります
◇合併調整室広報係
☎55－4803

人の動き

世帯数	3,713世帯	（＋ 2）
人　口	10,345人	（－15）
うち男	4,974人	（－ 8）
女	5,371人	（－ 7）

3月1日現在　（前月比）

編集後記

町報の担当になって早いもので8カ月が経ちました。今月号の編集にあたって各小学校に取材に行った時、子供たちにカメラを向けると笑顔でピースをしてくれました。撮っている私も嬉しくなります。大人の人はカメラを向けると表情が硬くなる人が多いようですが、私は怖くないですよ！カメラを向けたら大人も子どもも笑顔で写ってください。本年度も町報きょなんをよろしくお願いします。（K）